

地域医療構想の進捗状況について

1 これまでの経緯

地域医療構想は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化・連携を適切に推進するために、平成29年3月に策定しました。

地域医療構想の達成に向けては、これまで、県内8区域に設置した地域医療構想調整会議を中心に協議を進め、平成31年3月には各医療機関の2025（令和7）年における担うべき役割や医療機能ごとの病床数等に関する具体的対応方針をとりまとめたところです。

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大が一般医療に与えた影響を受け、地域医療構想の議論は停止せざるを得ない状況が続きましたが、令和3年度の意見交換会・調整会議以降、協議を再開しています。

また、令和4年3月に国からは、令和5年度までに各医療機関の対応方針をあらためて見直すとともに、公立病院については、「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として策定するよう通知が発出されています。

2 今年度の取組

(1) 病床に係る情報の更新

直近の病床機能報告は、主に令和3年7月1日時点における各医療機関の医療機能や病床数に関する情報であるため、最新の状況を把握する目的で、各医療機関に対して、令和4年7月1日時点のアンケート調査を実施しました。

(2) 地域医療構想調整会議の開催

病床を有する医療機関による意見交換会および地域医療構想調整会議を開催し、(1)のアンケート結果に三重県版定量的基準を適用した現状の病床数等の共有、今後の具体的対応方針の見直しや公立病院経営強化プランの策定に向けて協議を行いました。

構想区域	意見交換会	調整会議
桑員	令和4年 9月29日	令和4年10月27日
三泗	令和4年10月 3日	令和4年10月28日
鈴亀	令和4年10月 4日	令和4年10月25日
津	令和4年 9月27日	令和4年10月26日
伊賀	令和4年10月 4日	令和4年10月18日
松阪	令和4年10月 7日	令和4年10月20日
伊勢志摩	令和4年 9月30日	令和4年10月25日
東紀州	令和4年 9月26日	令和4年10月21日

3 国の動き

国は、各都道府県に対し、令和5年度までに各医療機関の対応方針を見直すとともに、その状況を各都道府県が公表することを求めています。

また、国において、現在の地域医療構想の2025年までの取組を着実に進めつつ、2025年以降における新たな地域医療構想の策定に向けた課題整理・検討を行うことが予定されています。

【第93回社会保障審議会医療部会（令和4年11月28日）資料抜粋】

- 地域医療構想については、これまでPDCAサイクルや都道府県の責務の明確化による取組の推進を行ってきており、現在の2025年までの取組を着実に進めるために、PDCAも含め責務の明確化による取組の強化を図っていく。
- さらに、2025年以降についても、今後、高齢者人口がピークを迎えて減少に転ずる2040年頃を視野に入れつつ、新型コロナ禍で顕在化した課題を含め、中長期的課題について整理し、新たな地域医療構想を策定する必要がある。そのため、現在の取組を進めつつ、新たな地域医療構想の策定に向けた課題整理・検討を行っていく。

（検討のスケジュールのイメージ）

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
新しい地域医療構想の検討・取組		国における検討・制度的対応		都道府県における策定作業	新たな構想に基づく取組
現行の地域医療構想の取組	構想に基づく取組				

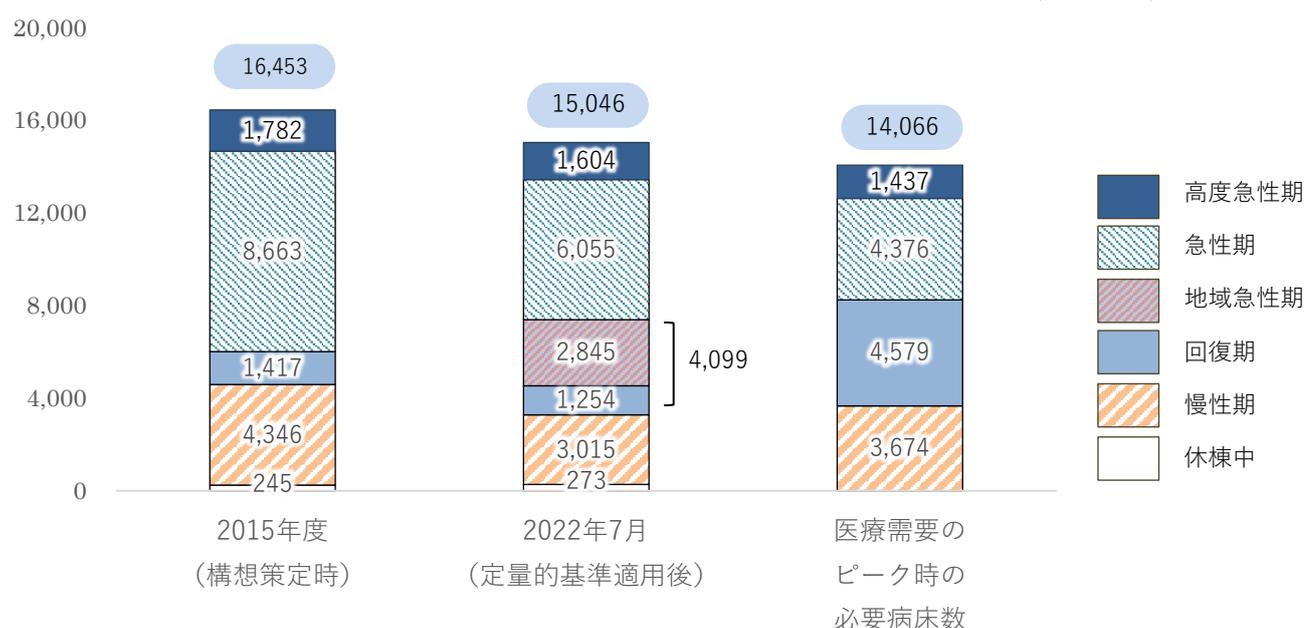
4 今後の対応

地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築に向けて、対応方針の見直し、公立病院経営強化プランや紹介受診重点医療機関の明確化等について、地域医療構想調整会議等において引き続き、きめ細かく協議を進めていきます。

また、2025（令和7）年以降における新たな地域医療構想について、国において今後検討が予定されていることから、その動向を注視していきます。

<参考1> 病床数の推移

(単位：床)



- ※1 「2015年度」は、対象となる171の医療機関のうち、報告のあった157機関の数値。未報告の病床数は152床。
- ※2 「2022年7月」は、令和4年7月1日時点のアンケート調査等から、医療型障害児入所施設及び障がい者の療養介護を行う施設の病床数(364床)を除外している。
- ※3 「医療需要のピーク時の必要病床数」は、2025年以降の医療需要のピーク時(三河、鈴鹿区域が2040年、桑名区域が2035年、津、伊賀、松阪区域が2030年、伊勢志摩、東紀州区域が2025年)の必要病床数。

<参考2> 具体的対応方針の検討状況(令和4年9月現在)

1. 全体(2及び3の合計)

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	15,222床	8,022床	53%	7,160床	47%	40床	0%
医療機関数ベース	147機関	91機関	62%	54機関	37%	2機関	1%

2. 公立・公的医療機関等(平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。)

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	8,857床	2,845床	32%	6,012床	68%	床	0%
医療機関数ベース	32機関	6機関	19%	26機関	81%	機関	0%

3. 2以外の医療機関(平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。)

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	6,365床	5,177床	81%	1,148床	18%	40床	1%
医療機関数ベース	115機関	85機関	74%	28機関	24%	2機関	2%

※ 2025年時点に予定する病床にかかる病床機能別の策定・検証状況を表しています